

本年も宜しくお願い申し上げます



明けましておめでとうございます。年が明け、2023年がスタートしました。みなさん、今年の目標はもう決めましたか？「一年の計は元旦にあり」（一年のことは年の初めの元日に計画を立てて行うべし。物事は初めが大事。それもしっかりした計画のもと着実にやろう。ということ）といひます。今年の目標を決めて、それに向けてしっかりと歩めるような1年にしたいですね。



3学期

本の貸出開始日について

3学期の貸出は
1/16 (月)
の昼休みから開始します。

今年度借りた本の冊数は
2/15 (水)に
集計します。



図書室で よみくじ を引こう！



図書室では、1月16日(月)から2月の初めまで本を1冊借りるとよみくじ(おみくじ)を1日1回引くことができます！よみくじにはその時の運勢と、本の中のステキな言葉がそえられています。本を借りて、新年の運だめしをしてみませんか？（おみくじの効果があるかは……お楽しみ。運勢は参考程度に受け取ってくださいね。）※凶は入っていません。



3学期 図書 の 予定



【年間多読者の集計】集計日 2/15 (水)

“年間”多読賞の表彰になります。2/15(水)までの貸し出し冊数を集計し、学年ごとに表彰します。賞状は各クラスの担任の先生から手渡しとなります。

【3年生の貸し出しについて】2/15 (水) ※ 2/22 (水) までに必ず返却

3年生の最終貸出日は2/15(水)です。借りた本は、2/22(水)までに必ず返却するようお願いします。

次回の移動図書館は **1月18日(水)** に来校します。



※今後の状況においては、来校日の変更等を行う場合があります。

うら面もあります →

PICK UP 3 TITLE

誰もがハマる（！？）「いまよむ本」今月の記念日にちなんだ「今月の本」ぜひ読んでほしい「外国の本」「日本文学」…… 毎月3つのタイトルで魅力的な本を紹介します。



夏への扉
ロバート・A・ハインライン／著
早川書房



給食アンサンブル
如月 かずさ
光村図書出版



宮沢賢治全集〈1〉
宮沢 賢治
筑摩書房



ぼくの飼猫のピートは、冬になるときまって「夏への扉」を探しはじめる。家にあるドアのどれかひとつが、夏に通じていると固く信じているのだ。そして1970年12月、ぼくもまた「夏への扉」を探していた。親友と恋人に裏切られ、技術者の命である発明までだましとられてしまったからだ。冷凍睡眠で30年後の2000年へと送りこまれたぼくは、失ったものを取り戻すことができるのか——新版でおくる、永遠の名作。

1月24日から「全国学校給食週間」です。戦後、栄養失調の子どもたちを救うために、外国からの援助で給食が再開されました。昭和21年12月24日に新しい学校給食が始まったことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、冬休みに入ってしまうため、1か月後の1月24日から1週間を「全国学校給食週間」と定めました。

転校先の学校に馴染むのを拒む美貴、子どもっぽいのがコンプレックスの桃、親友の姉に恋をする満、悩める人気者の雅人、孤独な優等生の清野、姉御肌で給食が大好きな梢。6人の中学生たちの揺れる心が、給食をきっかけに変わっていく。やさしく胸に響くアンサンブルストーリー。

宮沢賢治全集の第1巻、詩集（賢治自身は、詩集と呼ぶことは好まず、心象スケッチと言っています。）「春と修羅」が収録されています。「春と修羅」の詩が描かれたのは、妹の死をはさむ、賢治にとっての精神的な危機の時期でした。「心象スケッチ」という方法で、心象のあり様を直視し、記録することを通じて、心の危機を対象化し、それを克服していったのかもしれない。「春と修羅」は、賢治の生前に唯一刊行された詩集となっています。



「13歳からの『手帳活用術』〈新装版〉 学力向上習慣が身につく本」

小澤 淳／著

（メイツ出版 刊）

「手帳を書くということは、自分を知ることだ。今の自分を知って、夢とどれだけギャップがあるかを浮き彫りにする。ギャップを埋めるために、何をすればいいか考え、実行する。これができるようになればキミの人生は劇的に変わる。手帳を書く、それだけで夢がかなうのなら、やらない手はない。」本書は、ビジネスで役立つと注目される「手帳メモ(管理)」「箇条書き」などの技術を、中学～高校生向けにやさしく解説する書籍となっています。

「魔女学校の教科書」

西村 佑子／著

（静山社 刊）



魔法の杖に不思議な薬草、空飛びボウキ——どうしても魔女になりたい！というあなたのための、特別授業が始まります。本物の魔女ってどんなことをするのか？ どんな魔法を使うのか？ 薬草には魔力があるのか？ 昔、ドイツで修行をした魔女ザーゲのレッスンでは、これらの秘密を解き明かし、皆さんにほんとうの魔女の姿をお教えします。さあ、教科書を開いて。1時間目は「魔法入門」です——。

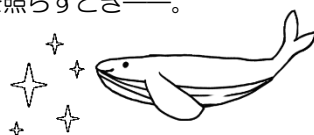
「凍りのくじら」

辻村 深月／著

（講談社 刊）

高校2年、芦沢理帆子——。「家に帰れば、本が読めるから」誰と話しても、本気で楽しいと思えたことがなかった。あの光と出会うまでは。

藤子・F・不二雄を「先生」と呼び、その作品を愛する父が失踪して5年。高校生の理帆子は、夏の図書館で「写真を撮らせてほしい」と言う1人の青年に出会う。戸惑いつつも、他とは違う内面を見せていく理帆子。そして同じ頃に始まった不思議な警告。皆が愛する素敵な“道具”が私たちを照らすとき——。



※今月掲載の新作図書は

1月20日頃貸出開始予定です。

【 そのほかの新作図書 】

- ・手話通訳者になろう
- ・世界一ゆかいな脳科学講義
頭の中をぐるぐるめぐる11日間
- ・おとなになるのび太たちへ
人生を変える『ドラえもん』セレクション
- ・12色でスタート！
はじめてのコピックイラスト
- ・中学生に贈りたい心の詩40
- ・ぼくは12歳
- ・名づけられた葉一なのだから
- ・凍りのくじら
- ・小説 すずめの戸締まり
〈Newton 大図鑑シリーズ〉
- ・海大図鑑
- ・鉱物大図鑑
- ・地球大図鑑
〈学研の図鑑LIVE(ライブ) ポケット〉
- ・「昆虫」「動物」「植物」「幼虫」「危険・有毒生物」「鳥」「恐竜」「魚」「星・星座」「カブトムシ・クワガタムシ」の10冊
〈世界ショートセレクション〉
- ・エーメ 壁抜け男
- ・シュトルム みずうみ

「グッバイ宣言」

三月みどり／著

（KADOKAWA 刊）

単位さえ落とさなきゃいいや、学校に行くのは最低限でも。でもまあ、無難に勉強はして、普通に大学にも行って、なんとなくサラリーマンとかになって……。家に籠ってゴロゴロしながら、そんなありきたりな未来を思い描いていた。でも高校最後のあの春に、破天荒で天真爛漫で、そして誰よりも夢に向かって真っすぐなキミに出会い、染められてしまったんだ。本当の自分自身と向き合い、うわべだらけの昨日にサヨナラを宣言し、青い春に狂い咲け！

